

# オオサカハイマック通信

VOL.4 (2018年4月)

## スタッフ紹介 常勤医 安西 誠



兵庫県伊丹市生まれ。金沢大学医学部卒業。  
初期研修修了後、大阪大学医学部放射線治療科に入局。  
放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院(千葉県)での勤務後、  
関西労災病院および市立貝塚病院を経て、2017年4月より非常勤で  
重粒子線治療の準備に携わり、2018年4月より常勤医として大阪重粒子線  
センターに勤務。

## スタッフ紹介 非常勤医 井上 俊彦



愛媛県生まれ。大阪大学医学部卒業。  
大阪府立成人病センター(現:大阪国際がんセンター)部長。  
大阪大学名誉教授。蘇生会総合病院名誉院長。  
都島放射線科クリニック院長、名誉院長。  
芦屋放射線治療クリニックのぞみ名誉院長。  
2018年4月より非常勤医として大阪重粒子線センターに勤務。

## お知らせ

2018年3月1日より外来診察を開始しています。  
尚、治療開始は2018年10月を予定していますが、3月末で20名の前立腺  
がん治療の仮予約を行いました。  
診療予約方法等については、ホームページをご覧ください。  
<https://www.osaka-himak.or.jp>

## アクセス

大阪の中心地に立地した  
大都市ならではの交通アクセス

最寄駅は、  
大阪市営地下鉄谷町線・中央線  
「谷町四丁目」駅、徒歩8分

- 新大阪から大阪市営地下鉄御堂筋線「新大阪」駅乗車(約25分)
- 大阪駅から大阪市営地下鉄谷町線「東梅田」駅乗車(約10分)
- その他、伊丹空港から約50分、  
関西国際空港から約70分(公共交通機関を利用した場合)



	月	火	水	木	金
午前 / 午後	溝江 安西	井上 茶谷	溝江 安西	茶谷 安西	溝江 茶谷

### 重粒子線治療の特徴(従来の X 線治療との違い)

X 線治療と重粒子線治療では「放射線量の集中性」と「生物効果(がんを殺す)」が異なります。

#### 【放射線量の集中性】

従来から放射線治療に用いられる X 線の場合、体の表面近くでその効果が最大となり、その後はエネルギーを出しながら体を通り抜けます。一方、重粒子線は、体の表面の放射線の量を少なくし、がんだけを集中的に狙いうちすることができます。また、体の深いところにあるがんに対する治療効果も期待できます。

#### 【生物効果(がんを殺す)】

がんの治療に用いられる放射線は、がん細胞のDNAに分子レベルで傷をつけ、細胞分裂ができないようにして、がんを死滅へと導きます。その作用が強く働くのが重粒子線です。粒子には重さがあり、とくに重い粒子を高速で加速したのが重粒子線なので、がん細胞にぶつかれば強い生物効果(がんを殺す力)を示します。重粒子線は、生物効果(がんを殺す力)が優れているため、通常の放射線治療に抵抗性であるがんにも有効となる可能性が高いという特徴があります。

### 3/18(日) 市民公開講座にて講演を行いました。

大阪国際がんセンターにて開催された、大阪大学大学院医学系研究科放射線治療学講座/保健学専攻放射線腫瘍学研究室主催の市民公開講座「知っておきたい これからの重粒子線治療」にて、当センターの副センター長の茶谷正史と金井達明の両名が講演を行いました。



#### — 寄附のお願い —

大阪国際がん治療財団では、施設の開設に向け、広く寄附を募っています。当財団へ寄附いただいた方には、特定公益増進法人に対する寄附として税制上の優遇措置があります。詳しくは当財団までお問合せください。

#### — お問い合わせ —

発行元: 公益財団法人 大阪国際がん治療財団  
 電話: 06-6947-3210 ファックス: 06-6947-3211  
 住所: 〒540-0008 大阪府大阪市中央区大手前 3-1-10  
 HP アドレス: <https://www.osaka-himak.or.jp>

大阪重粒子線センターや治療についての詳細はホームページをご覧ください

<https://www.osaka-himak.or.jp/>

